

海況速報

平成3年度 第4号 (通算 No.22)

平成3年10月21日

北海道立水産試験場

9月下旬～10月上旬の海況

〔日本海海域〕

表面水温は17～20℃の範囲にあり、津軽海峡西口沖では21～22℃台を示していました。100、200m層から明らかなように積丹半島沖に暖水塊が見られました。昨年に較べると50m層で道北海域がやや低めであること、積丹半島西側がやや高めになっていることなどが特徴的でした。なお、余市における沿岸水温は昨年とほぼ同程度で推移しています。

〔オホーツク海海域〕

表面水温は沿岸暖流域では14～15℃台、沖合域では11～13℃台を示しています。これは昨年と較べるといずれも2～3℃低めとなっています。50m層ではウトロ沖に冷水域が接岸しています。50～100m層の水温は昨年とほぼ同様な値となっています。

〔道東太平洋海域〕

表面水温は13～16℃台でしたが、100m層では沿岸の暖水域（道東沿岸流）の沖合を親潮が広く覆い、暖水塊は見られませんでした。昨年と較べると、表面水温は沿岸域では昨年並みでしたが、沖合域では低めでした。

〔道南太平洋海域〕

表面水温は北部では16～18℃台、南部では18～19℃台を示しており、いずれも昨年より1～2℃低めでした。津軽暖流は、100m層で見ると、襟裳岬沖を道東海域側に越えて親潮と潮境を形成しているようです。昨年比では中下層が全体的にほぼ同程度の水温を示しましたが、南部の200m層でわずかに低い値となっていました。

資 料 〔観測期間〕

稚内水試（北洋丸）平成3年9月24日～同9月27日（道北日本海海域）

網走・稚内水試

（北洋丸）平成3年10月1日～同10月4日（オホーツク海海域）

釧路水試（北辰丸）平成3年9月30日～同10月4日（道東太平洋海域）

函館水試（金星丸）平成3年9月30日～同10月1日（道南太平洋海域）

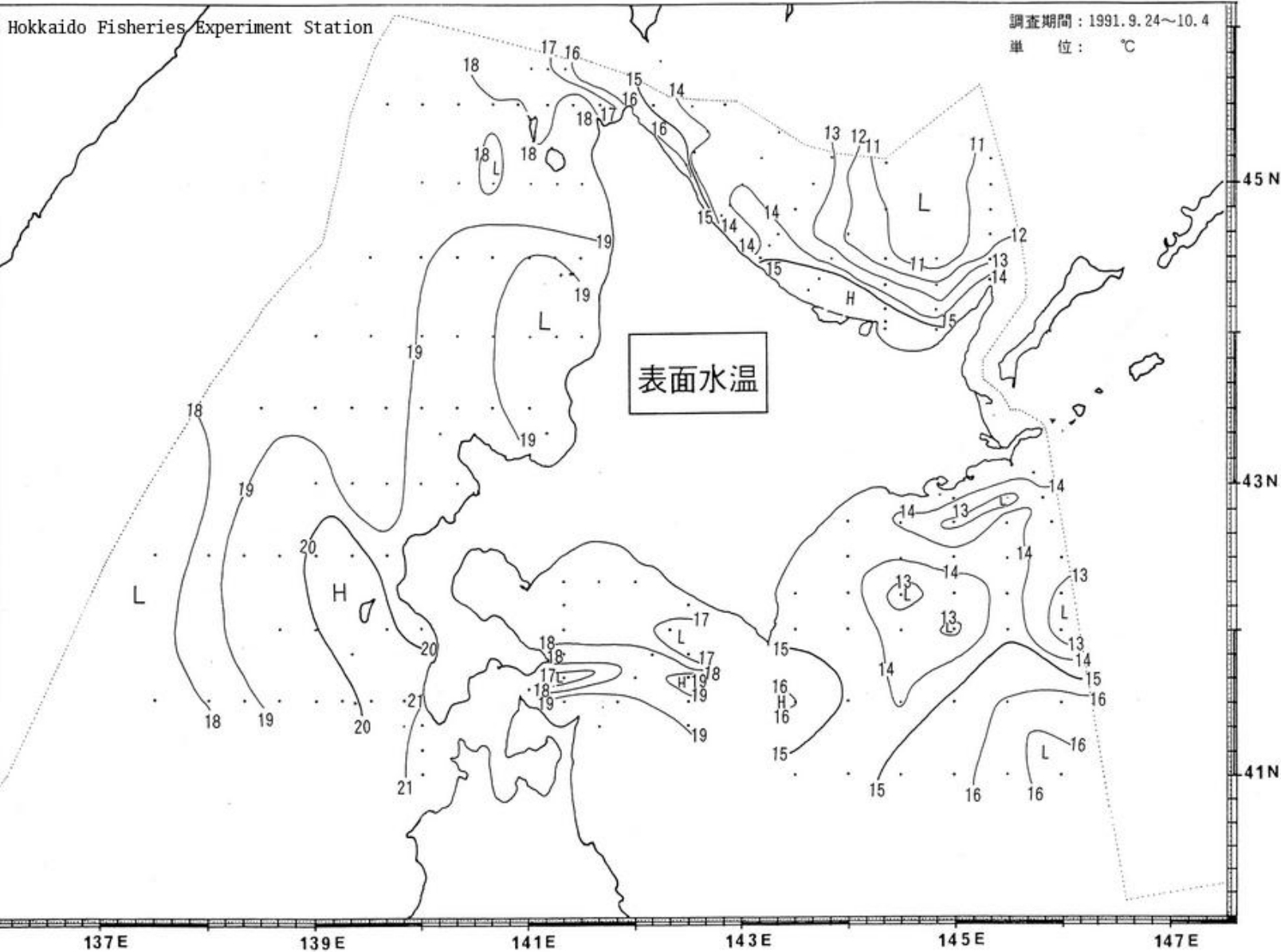
中央水試（おやしお丸）平成3年10月1日～同10月4日（道央～道南日本海海域）

（中央水試 海洋部）

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1991.9.24~10.4
単位：℃

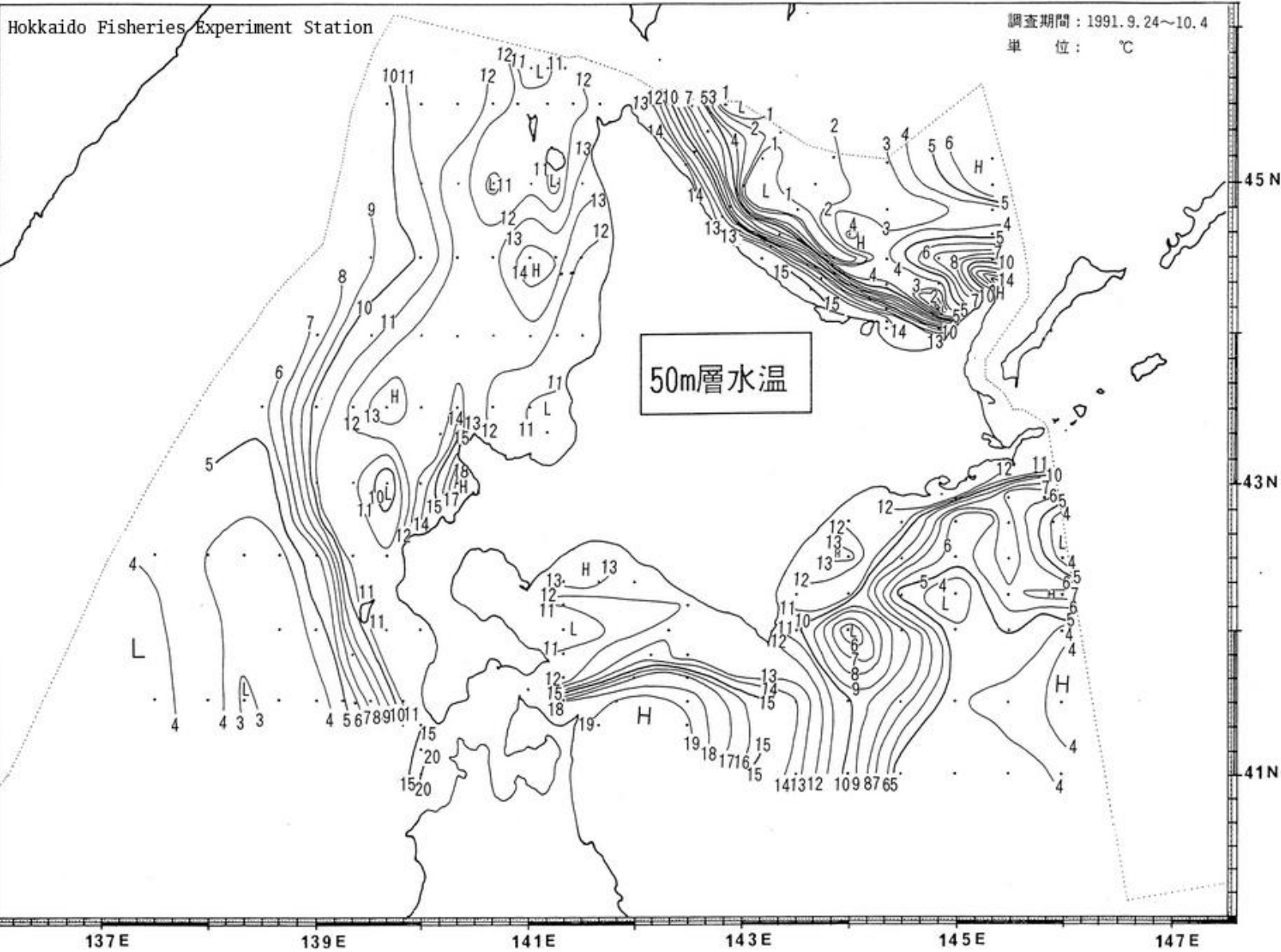
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1991.9.24~10.4
単位：℃

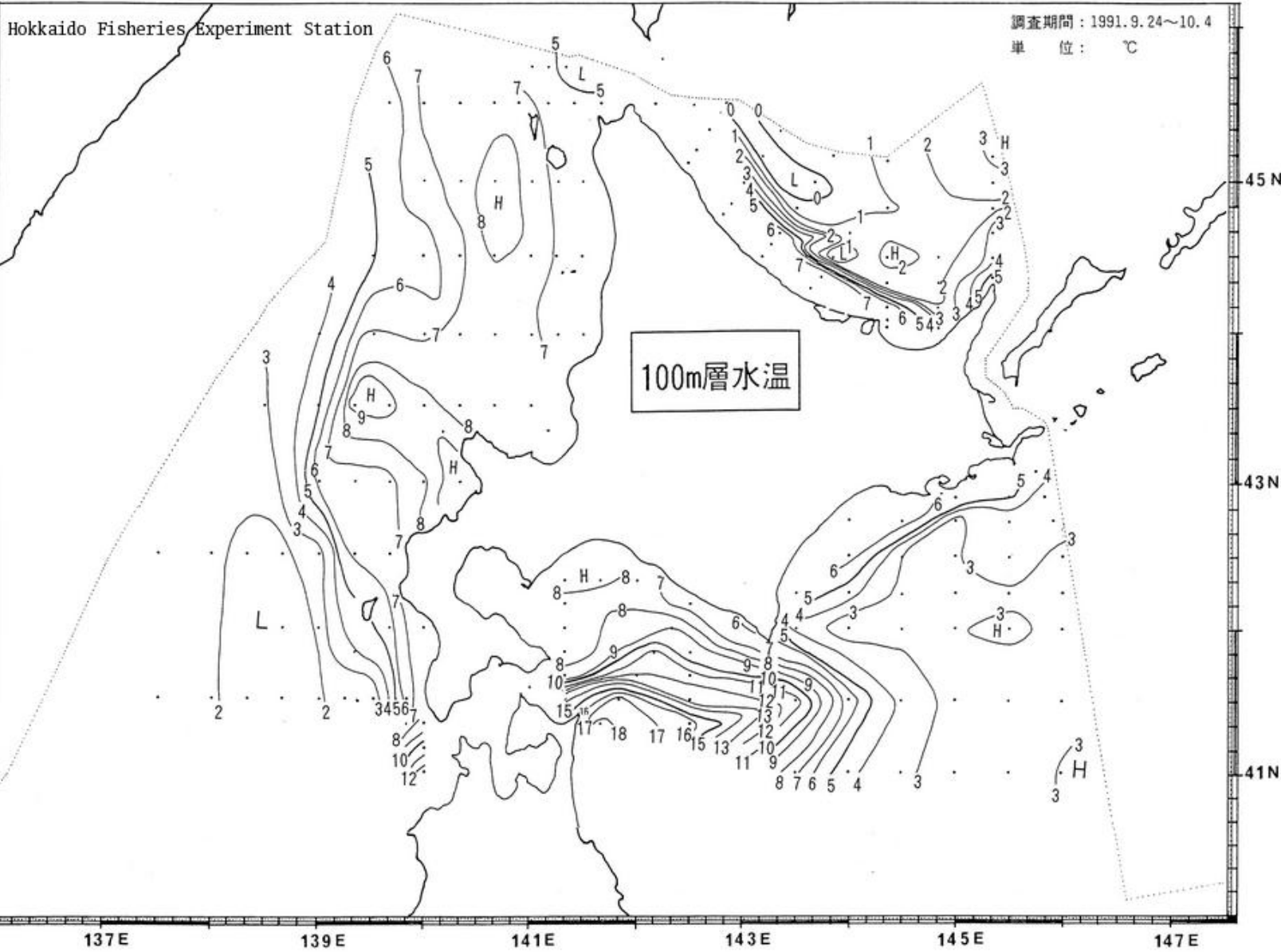
50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間: 1991.9.24~10.4
単位: °C

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1991.9.24~10.4
単位：℃

200m層水温

